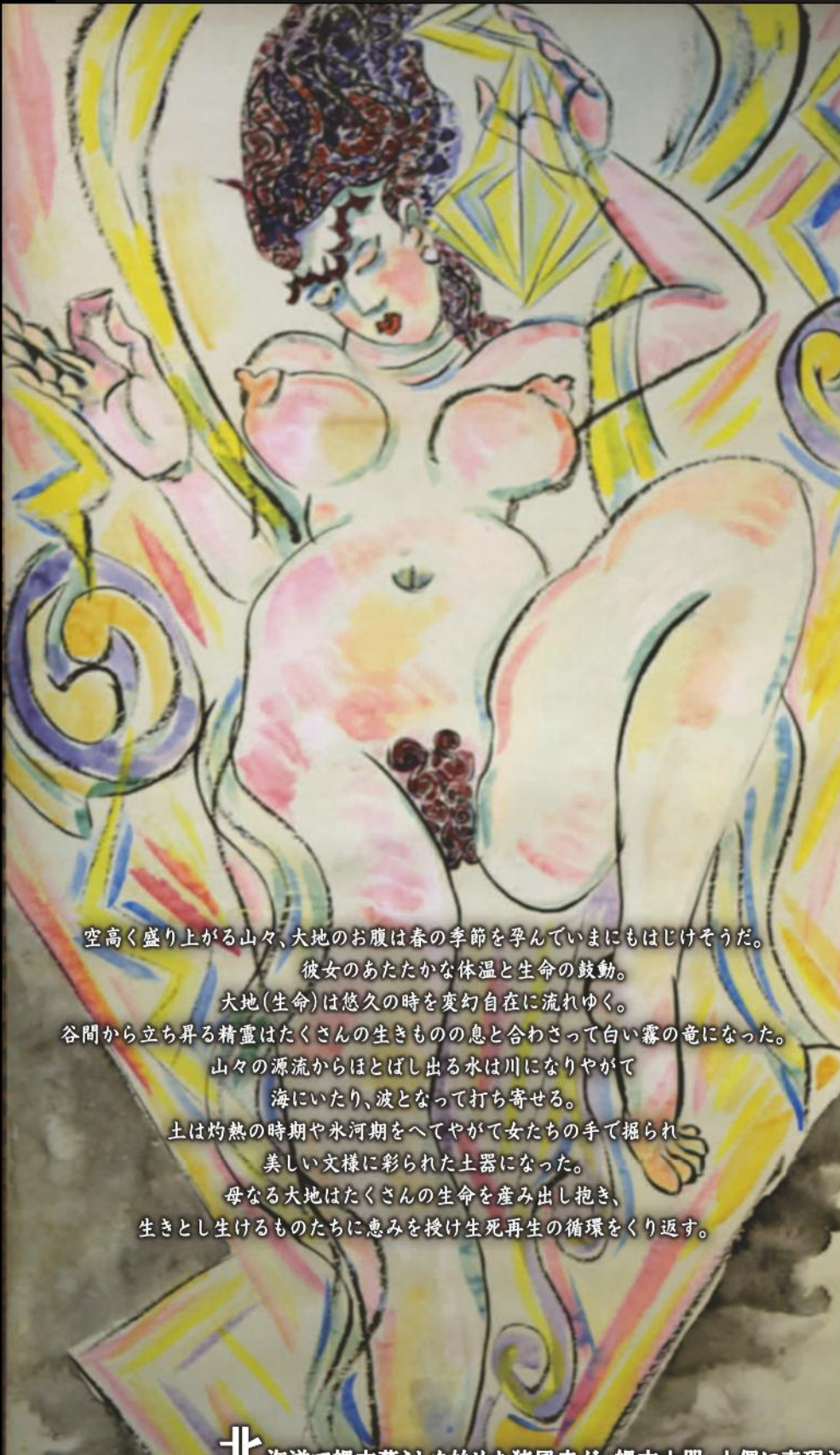


いふうらい
猪風来 縄文墨彩画

「大地の囃・春雷の囃」展

2024年 7月17日(水) ～ 10月27日(日)



空高く盛り上がる山々、大地のお腹は春の季節を孕んでいまにもはじけそうだ。
彼女のあたたかな体温と生命の鼓動。
大地(生命)は悠久の時を变幻自在に流れゆく。
谷間から立ち昇る精霊はたくさんの生きものの息と合わさって白い霧の竜になった。
山々の源流からほとぼし出る水は川になりやがて
海にいたり、波となって打ち寄せる。
土は灼熱の時期や氷河期をへてやがて女たちの手で掘られ
美しい文様に彩られた土器になった。
母なる大地はたくさんの生命を産み出し抱き、
生きとし生けるものたちに恵みを授け生死再生の循環をくり返す。

北 北海道で縄文暮らしを始めた猪風来が、縄文土器・土偶に表現された造形美の探求、縄文の心を体得しながら1993年から1996年に描いた墨彩画連作の企画展です。雪を割って大地から湧き立ちほとぼしる春の息吹と春を告げる春雷は、大地の生命力と鮮烈な季節の変化を実感させるものでした。「春雷の囃」は未公開の作品で稲妻を山野に放ち生命の目覚めを促す精霊女神として描かれています。「大地の囃」は大地の女神が大自然のすべての生命を孕む初々しく美しい姿で立ち現れます。この豊穡で力強く優しいパワーが縄文の造形文様の根源なのです。大地・大自然と森羅万象の姿を独自の縄文視座と美意識から描き出した墨彩画作品をどうぞご覧ください。



猪風来美術館
新見市法曾陶芸館
〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本唯一の縄文現代美術館。
縄文造形家・猪風来と村上原野の縄文野焼き作品など代表作を200点以上常設展示。生命と魂のデザイン～縄文スパイラルアートを現在直下で展覧しています。

【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月曜(祝日は開館し翌日休館)
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分